

火葬等許可事務システム標準化第 1 回検討会資料

2025年 9 月25日

目次

- 背景と目的..... P. 3
- 標準仕様書（改定版）作成スケジュール..... P. 4
- 第 1 回検討会における検討事項..... P. 5
- 法改正及びその他制度により標準仕様書の改定を行う事項..... P. 6
- 事務局で標準仕様書の改定が必要と判断した事項..... P. 9

背景と目的

令和元年6月21日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」等において地方自治体行政の様々な分野で、業務プロセスやシステムの標準化等による業務効率化を進めることとされたことを受け、「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律（令和3年法律第40号）」（以下「標準化法」という。）が定められ、**令和5年3月29日に「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第2条第1項に規定する標準化対象事務を定める政令（令和4年政令第1号）」の一部改正により、火葬等許可事務も標準化対象事務に追加**された。

このため、有識者（自治体、開発ベンダー等）が参画する検討会を立ち上げ、標準化の範囲や標準仕様の内容等の論点に関して議論を進めるとともに、地方自治体への照会等を行った上で、**令和5年8月31日に「火葬等許可事務システム標準仕様書【第1.0版】」が策定され、令和7年1月31日にはその改定版である「火葬等許可事務システム標準仕様書【第2.0版】」（以下「標準仕様書【第2.0版】」という。）を公表**した。

令和6年12月24日に閣議決定された「地方公共団体情報システム標準化基本方針」において、自治体は火葬等許可事務システムについて、令和7年度末までに標準準拠システムへの移行を目指すものとされている。

令和7年度においては、調査研究を通して、標準仕様書【第2.0版】の改定要否等の検討を行うとともに、令和8年1月を目途に標準仕様書【第2.0版】を改定し、火葬等許可事務システム標準仕様書（改定版）（以下「標準仕様書（改定版）」という。）を公表する予定。

標準仕様書【第3.0版】作成スケジュール

- 標準仕様書【第3.0版】の作成スケジュールは下記のとおり。

必ず行う
作業

必要に応じ
て行う作業

[illegible]

第 1 回検討会における検討事項

- 火葬等許可事務システム標準仕様書【第3.0版】の作成に向けて、本検討会では以下の項目について検討を行います。

No.	カテゴリ	改定項目	対象ドキュメント	備考
1	事務局で標準仕様書の改定が必要と判断した事項	火葬等許可証の死亡者の本籍欄の印字編集条件の修正	・（別紙3）帳票詳細要件	－
2		誤記の修正	・ 標準仕様書本編	－
3		業務フローの記載の修正	・（別紙1）業務フロー	－
4		火葬等許可証出力機能に関する用紙サイズ等の追記	・（別紙3）帳票詳細要件	－
5		火葬等許可証の死亡者の氏名欄等の印字編集条件の修正	・（別紙3）帳票詳細要件	－



法改正及びその他制度により標準仕様書の改定を行う事項

火葬等許可証の本籍欄の印字編集条件の見直し

現状

- （別紙3）帳票詳細要件の死亡者の本籍の「印字編集条件など」では、「外国籍の場合は国名を印字する。」としている。
- 戸籍法施行規則の一部を改正する省令（令和7年3月19日法務省令第9号）が公布、施行されたことにより、戸籍法又は戸籍法施行規則の規定により届書又は戸籍に国籍を記載することとされている場合において、届書又は戸籍に対して国名のほかに地域として「台湾又はパレスチナ」を記載することが可能となった。

方針

- 火葬等許可証の死亡者の本籍の「印字編集条件など」に、地域名の印字を許容する記述を追加する。

仕様書案

（別紙3）帳票詳細要件

- 「1.1.死体火葬許可証」 死亡者の本籍
- 「1.3.死体火葬許可申請書」 死亡者の本籍
- 「2.1.死体埋葬許可証」 死亡者の本籍
- 「2.3.死体埋葬許可申請書」 死亡者の本籍
- 「3.1.改葬許可証」 死亡者の本籍（死産の場合は、父母の本籍）
- 「3.2.改葬許可証別紙」 死亡者の本籍（死産の場合は、父母の本籍）

「外国籍の場合は国名を印字する。」 → 「外国籍の場合は**国名又は地域名**を印字する。」に変更する。

※「3.1.改葬許可証」、「3.2.改葬許可証別紙」は、死亡の場合に限り変更する。

Appendix) (別紙3) 帳票詳細要件の改定イメージ (変更例)

- 標準仕様書 (別紙3) 帳票詳細要件の「印字編集条件など」に、地域名の印字を許容する記述を追加する。

■ 変更前

帳票詳細要件 (1. 火葬許可証)					
業務		1. 火葬許可証	帳票ID	0390001	適合基準日 令和8年4月1日
帳票名称		1. 1. 死体火葬許可証			
備考					
連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			"死体火葬許可証"
2	発行番号	●			"第"+全角スペース+全角数字+全角スペース+"号"
3	再交付印		●		再交付の場合のみ□囲いで"再交付"と印字する。
4	死亡者の本籍	●			外国籍の場合は国名を印字する。
5	死亡者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
6	死亡者の氏名	●			
7	死亡者の性別	●			

■ 変更後

帳票詳細要件 (1. 火葬許可証)					
業務		1. 火葬許可証	帳票ID	0390001	適合基準日 令和8年4月1日
帳票名称		1. 1. 死体火葬許可証			
備考					
連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			"死体火葬許可証"
2	発行番号	●			"第"+全角スペース+全角数字+全角スペース+"号"
3	再交付印		●		再交付の場合のみ□囲いで"再交付"と印字する。
4	死亡者の本籍	●			外国籍の場合は国名又は地域名を印字する。
5	死亡者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
6	死亡者の氏名	●			
7	死亡者の性別	●			



事務局で標準仕様書の改定が必要と判断した事項

誤記の修正

現
状

- 標準仕様書【第2.0版】本編P.27表 3 -7において、「ID」を半角で記載すべきところを全角で記載している箇所がある。

方
針

- 上記は誤記のため、**全角→半角へ修正を行う。**

仕
様
書
案

標準仕様書本編

- 該当ページ : P.27 表 3 - 7

システムの利用者及び管理者に対して、個人単位で**ID**及びパスワード、利用者名称、所属部署名称、操作権限（入力処理や表示・閲覧等の権限）、利用範囲及び期間が管理できること。

Appendix) 標準仕様書本編の改定イメージ

- 標準仕様書【第2.0版】本編P.27表 3 - 7 において、「ID」が全角となっているところを半角に修正する。

■変更前

(8) 操作権限管理について

操作権限管理は地方自治体で利用する事務処理システムとして共通した要件とすることが基本であることから、デジタル庁が整理した要件を基本として、以下のとおり定める。

表 3-7 操作権限管理（実装必須機能）

実装必須機能
システムの利用者及び管理者に対して、個人単位で ID 及び パスワード、利用者名称、所属部署名称、操作権限（入力処理や表示・閲覧等の権限）、利用範囲及び期間が管理できること。
職員のシステム利用権限管理ができ、利用者とパスワードを登録し利用権限レベルが設定できること。
操作者 ID とパスワードにより認証ができ、パスワードは利用者による変更、システム管理者による初期化ができること。
アクセス権限の付与は、利用者単位で設定できること。
アクセス権限の設定はシステム管理者により設定できること。
アクセス権限の付与も含めたユーザー情報の登録・変更・削除はスケジューラーに設定する等、事前に準備ができること。
また、事務分掌による利用者ごとの表示・閲覧項目及び実施処理の制御ができること。
他の職員が許可証の作成を行っている間は、同一許可証の情報について閲覧以外の作業ができないよう、排他制御ができること。
なお、操作権限管理については、個別及び一括での各種制御やメンテナンスができること。
ID パスワードによる認証に加え、IC カードや静脈認証等の生体認証を用いた二要素認証に対応すること。
複数回の認証の失敗に対して、アカウントロック状態にできること。

表 3-8 操作権限管理（標準オプション機能）

標準オプション機能
組織・職務・職位等での操作権限を設定できること。
操作権限一覧表で操作権限が設定できること。
シングル・サイン・オンが使用できること。

27 / 40

■変更後

(8) 操作権限管理について

操作権限管理は地方自治体で利用する事務処理システムとして共通した要件とすることが基本であることから、デジタル庁が整理した要件を基本として、以下のとおり定める。

表 3-7 操作権限管理（実装必須機能）

実装必須機能
システムの利用者及び管理者に対して、個人単位で ID 及び パスワード、利用者名称、所属部署名称、操作権限（入力処理や表示・閲覧等の権限）、利用範囲及び期間が管理できること。
職員のシステム利用権限管理ができ、利用者とパスワードを登録し利用権限レベルが設定できること。
操作者 ID とパスワードにより認証ができ、パスワードは利用者による変更、システム管理者による初期化ができること。
アクセス権限の付与は、利用者単位で設定できること。
アクセス権限の設定はシステム管理者により設定できること。
アクセス権限の付与も含めたユーザー情報の登録・変更・削除はスケジューラーに設定する等、事前に準備ができること。
また、事務分掌による利用者ごとの表示・閲覧項目及び実施処理の制御ができること。
他の職員が許可証の作成を行っている間は、同一許可証の情報について閲覧以外の作業ができないよう、排他制御ができること。

表 3-7 操作権限管理（実装必須機能）

実装必須機能

システムの利用者及び管理者に対して、個人単位で ID 及び パスワード、利用者名称、所属部署名称、操作権限（入力処理や表示・閲覧等の権限）、利用範囲及び期間が管理できること。

職員のシステム利用権限管理ができ、利用者とパスワードを登録し利用権限レベルが設定できること。

27 / 40

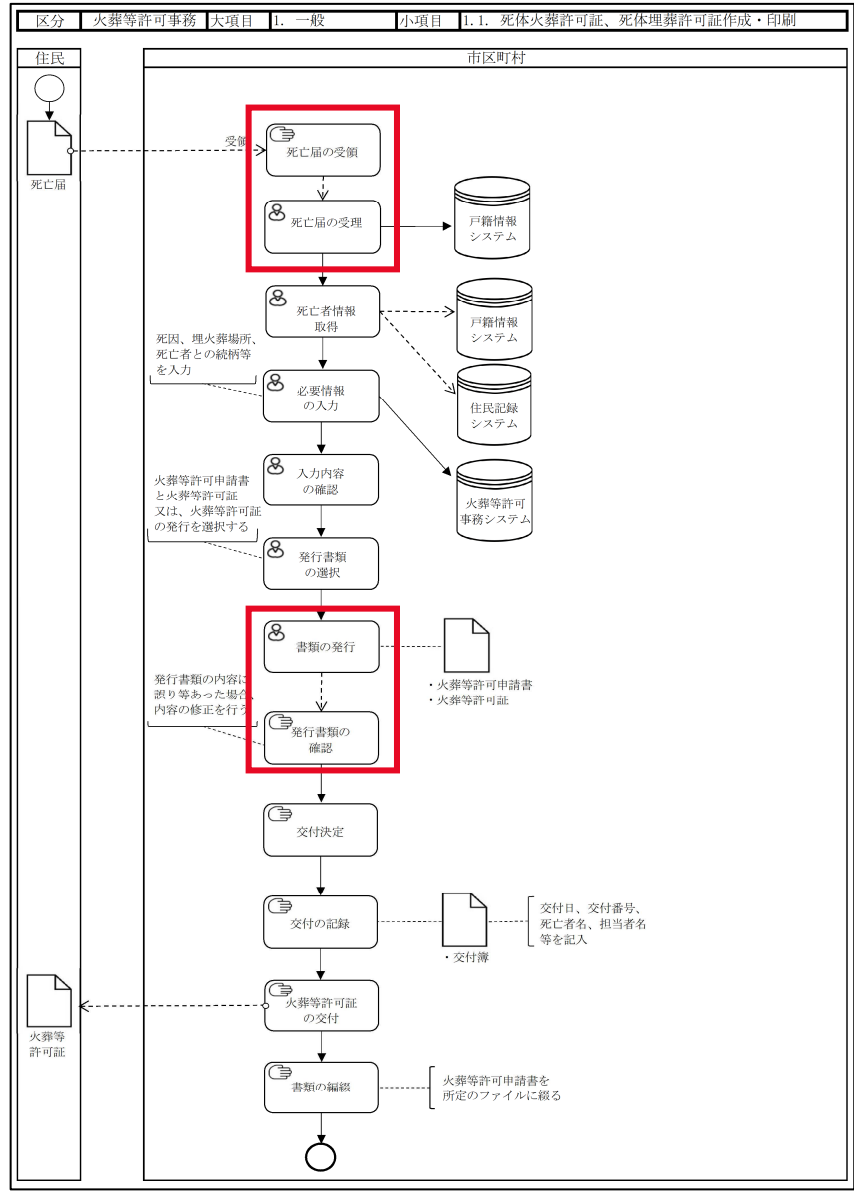
業務フローの記載の見直し

現状	標準仕様書【第2.0版】（別紙1）業務フローにおいて、「正常運用の流れ」を意味する実線矢印で記載すべきところを「部門等を跨ぐ流れ」を意味する点線矢印で記載している箇所がある。
方針	点線矢印→実線矢印へ修正を行う。
仕様書案	（別紙1）業務フロー 「1.1.死体火葬許可証、死体埋葬許可証作成・印刷」 「死亡届の受領→死亡届の受理」、「書類の発行→発行書類の確認」の点線矢印を実線矢印へ修正する。 「1.2.死胎火葬許可証、死胎埋葬許可証作成・印刷」 「届出の受領→死産票の作成」、「書類の発行→発行書類の確認」の点線矢印を実線矢印へ修正する。 「1.3.改葬許可証作成・印刷」 「書類の審査→死亡者情報取得」、「書類の発行→発行書類の確認」の点線矢印を実線矢印へ修正する。 「1.4.火葬等許可証再交付」 「交付簿の確認→該当情報の確認」、「書類の再発行→発行書類の確認」の点線矢印を実線矢印へ修正する。

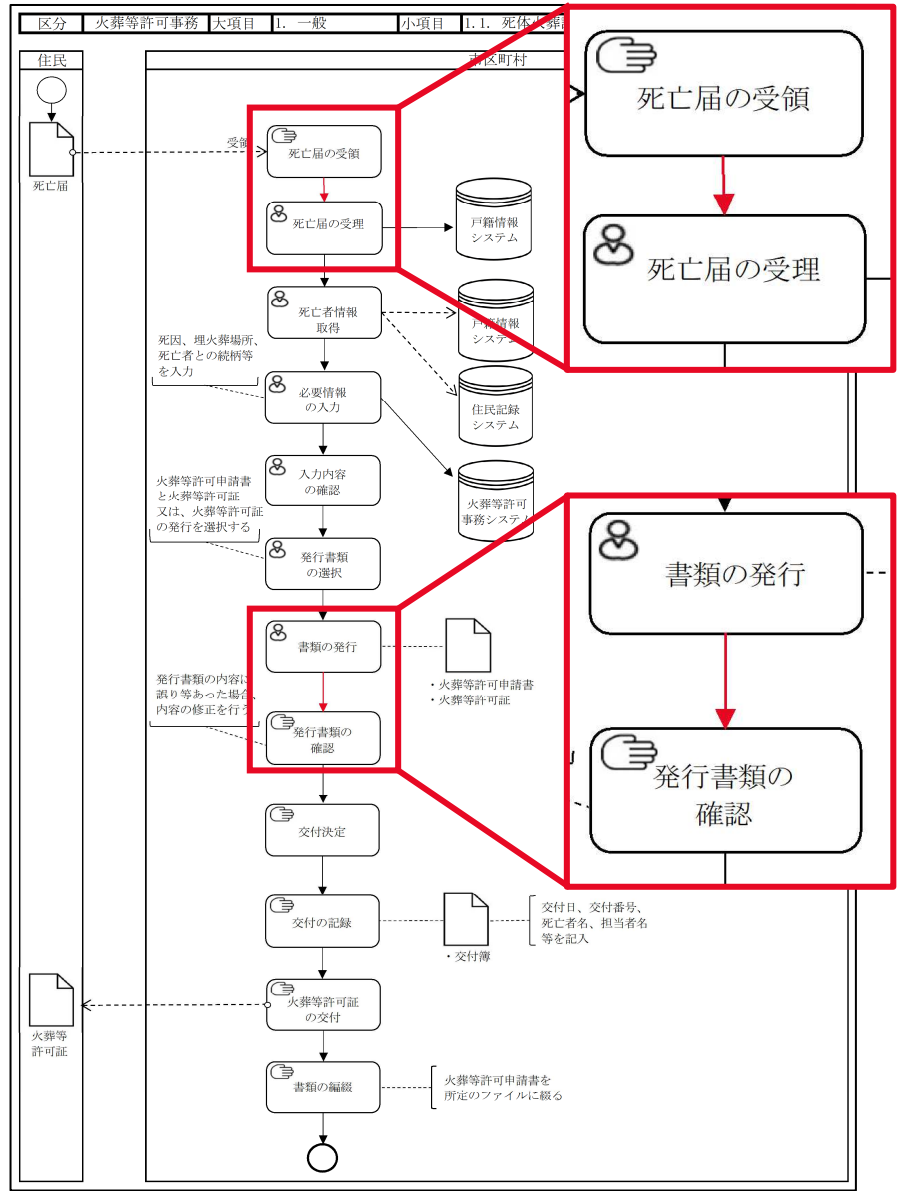
Appendix) (別紙1) 業務フローの改定イメージ

- 「1.1.死体火葬許可証、死体埋葬許可証作成・印刷」を以下のとおり変更する。

■変更前



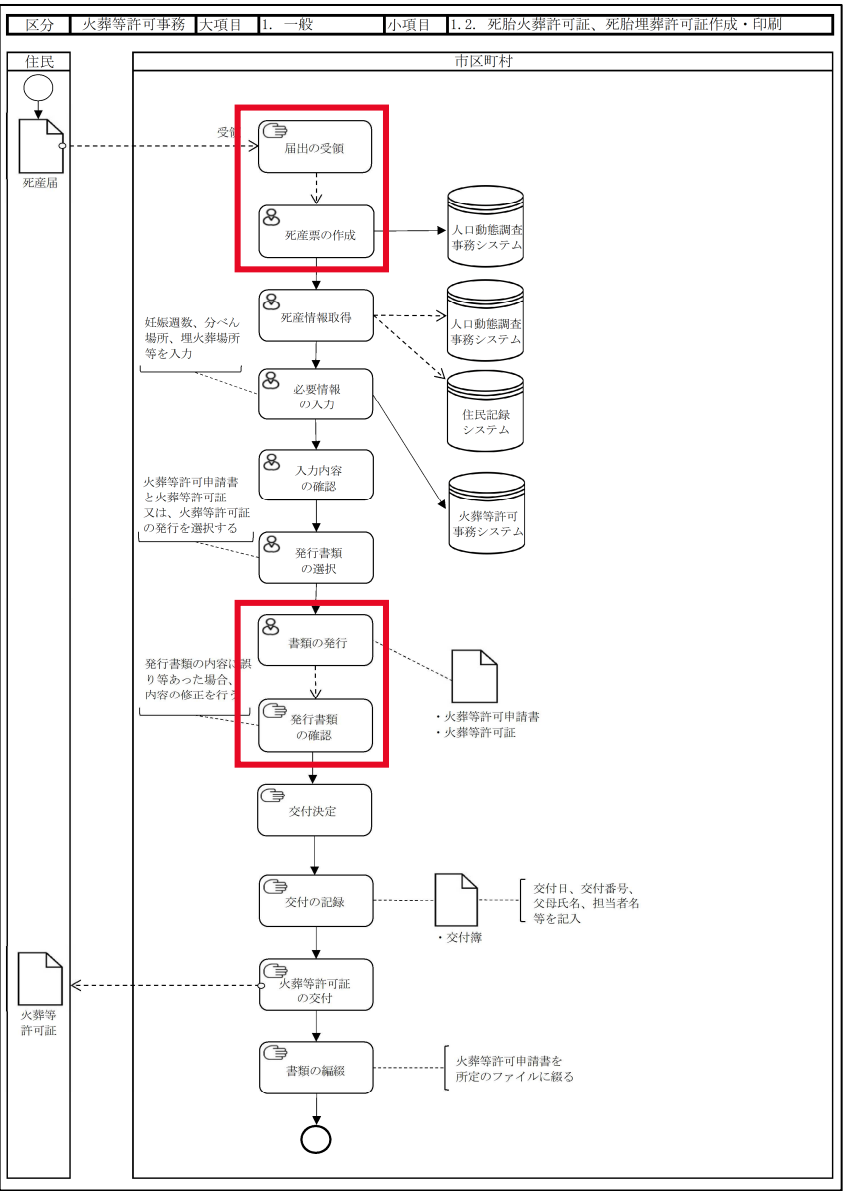
■変更後



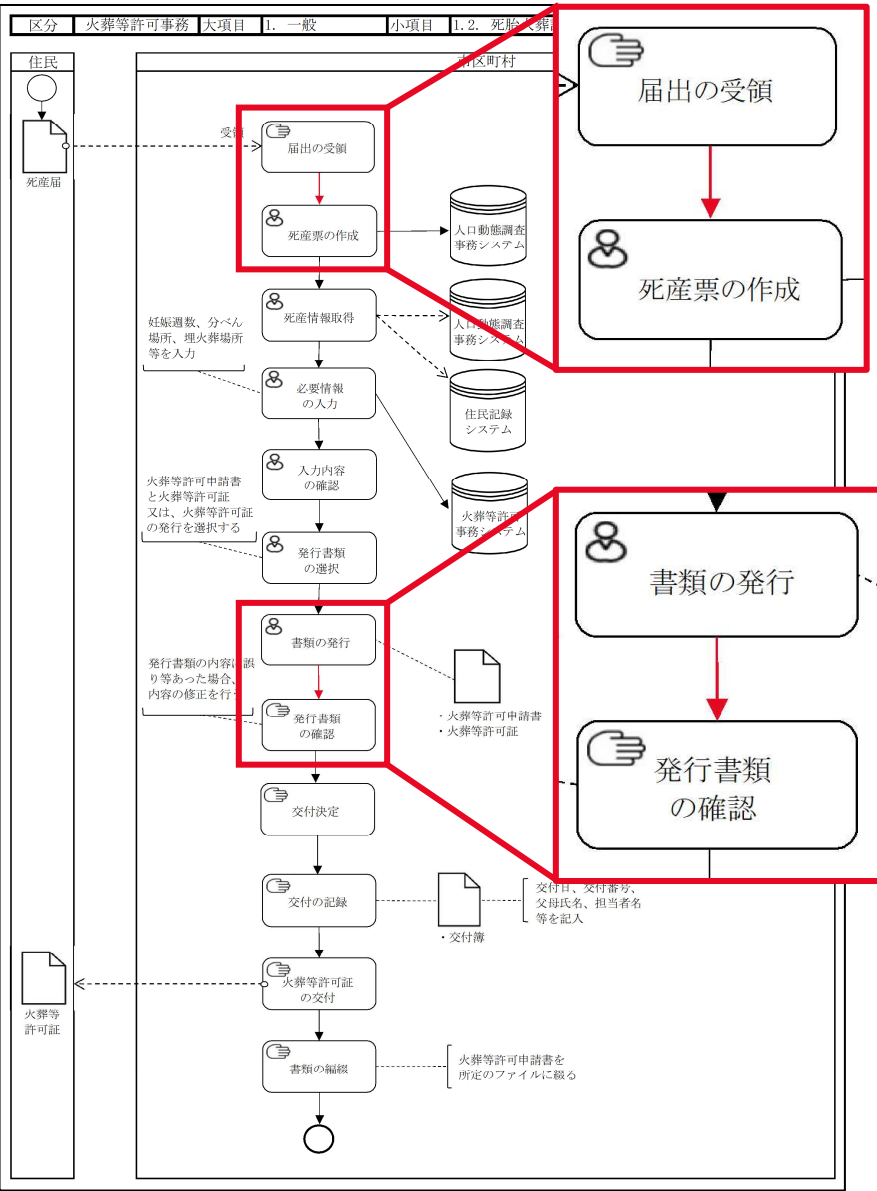
Appendix) (別紙1) 業務フローの改定イメージ

- 「1.2.死胎火葬許可証、死胎埋葬許可証作成・印刷」を以下のとおり変更する。

■ 変更前



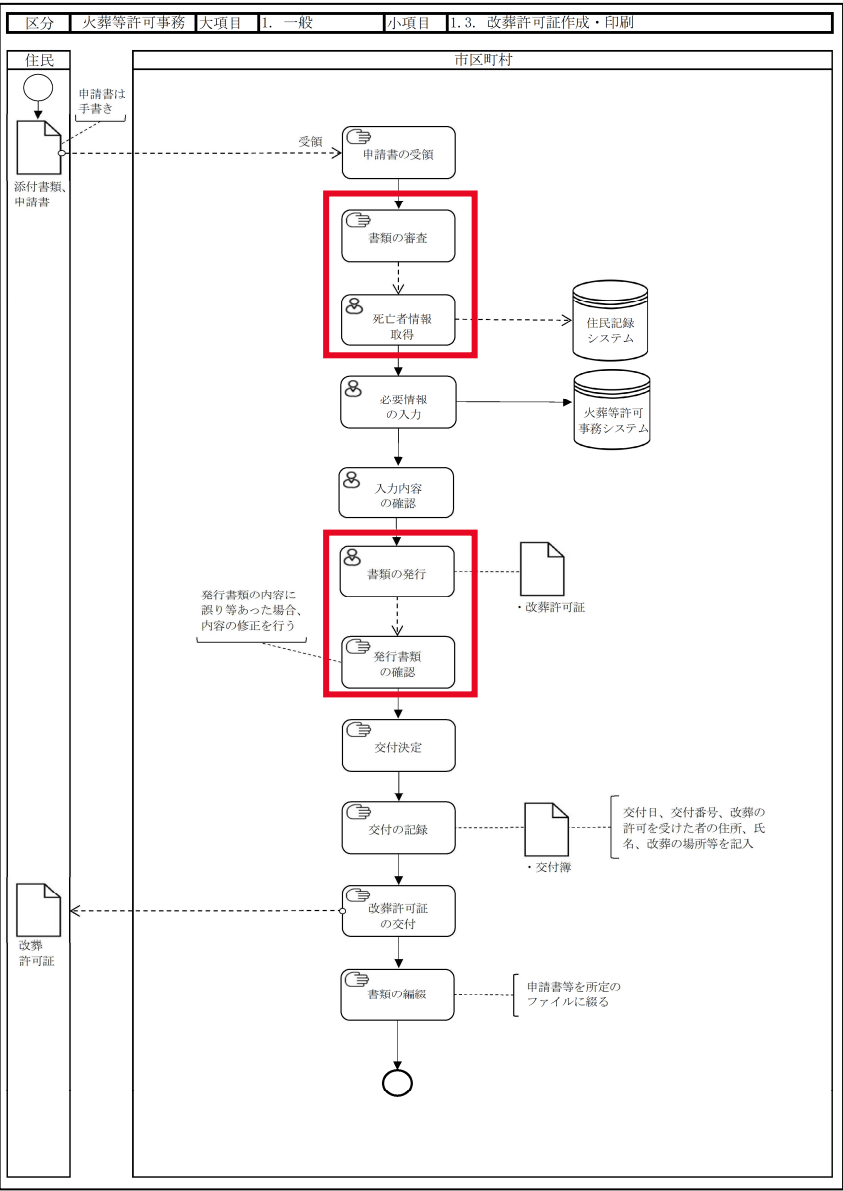
■ 変更後



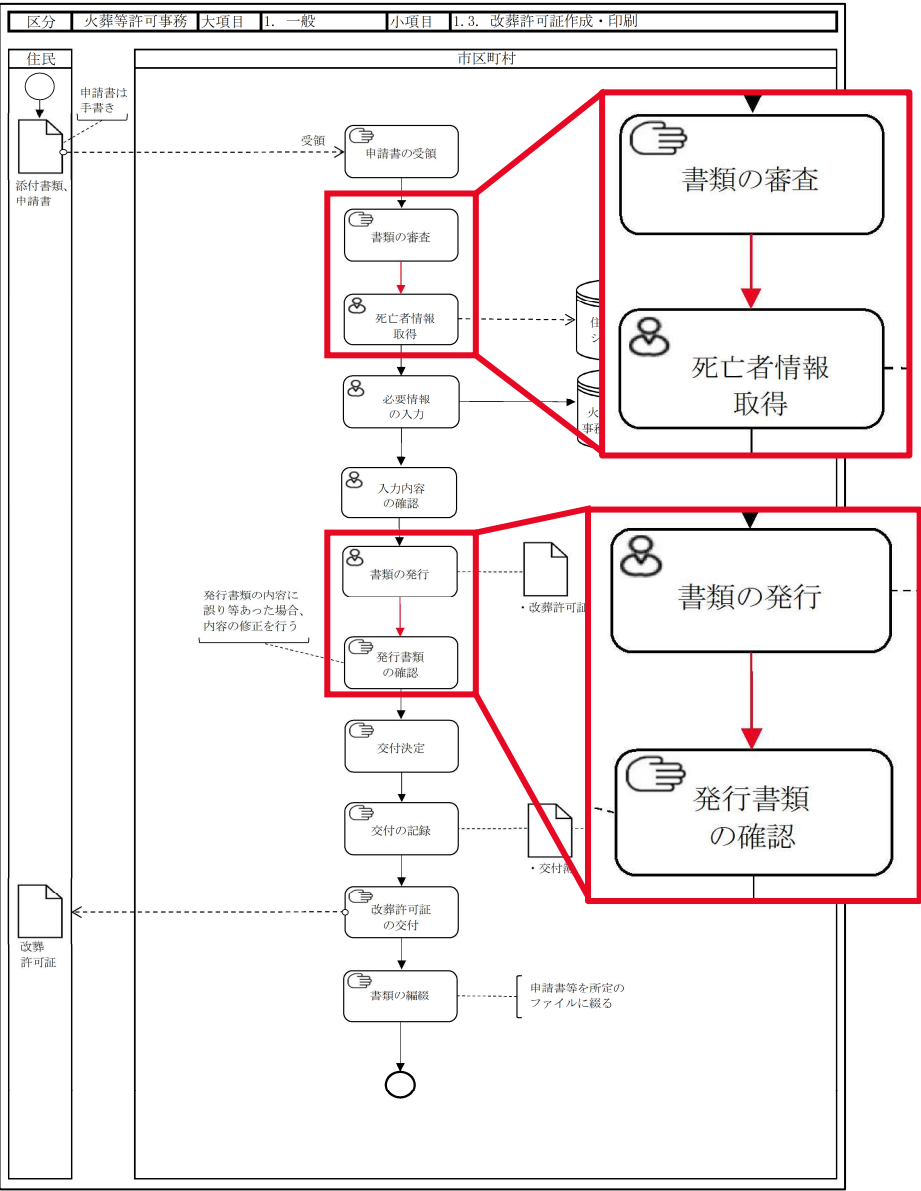
Appendix) (別紙1) 業務フローの改定イメージ

- 「1.3.改葬許可証作成・印刷」を以下のとおり変更する。

■ 変更前



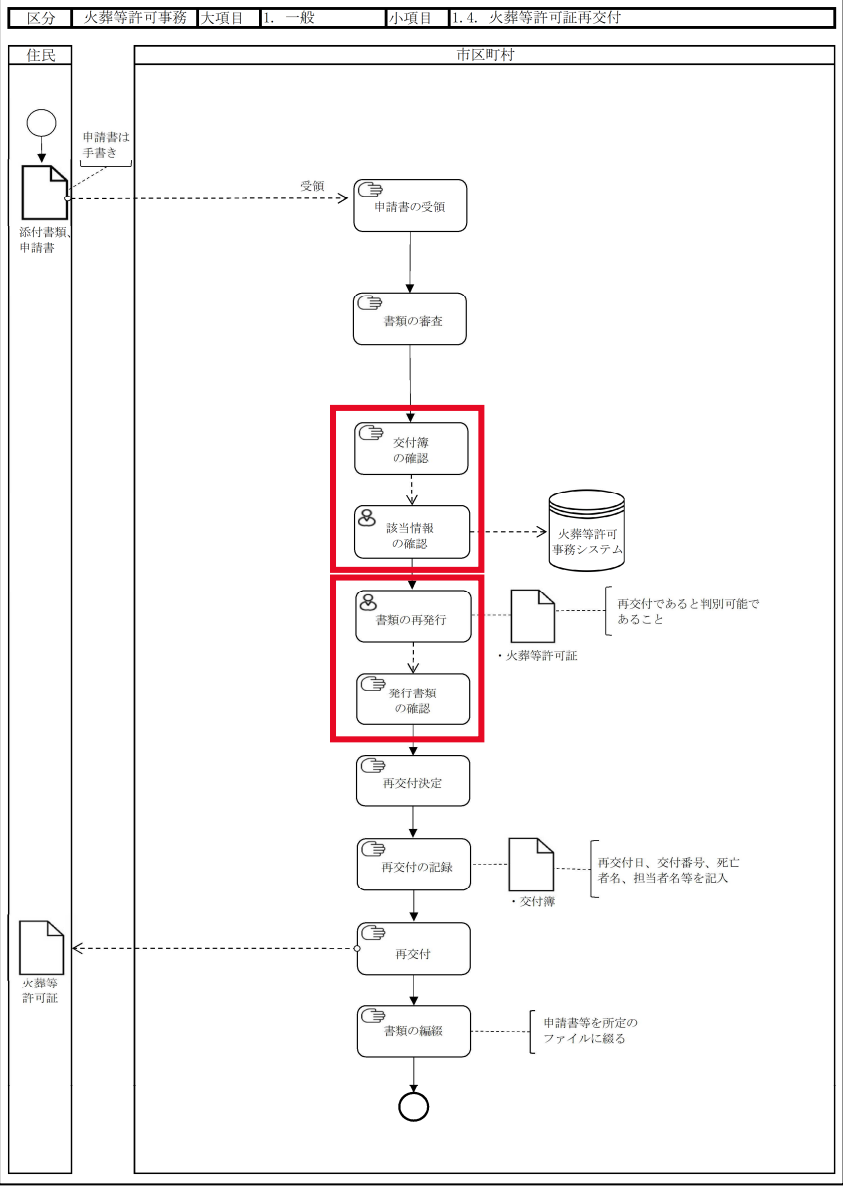
■ 変更後



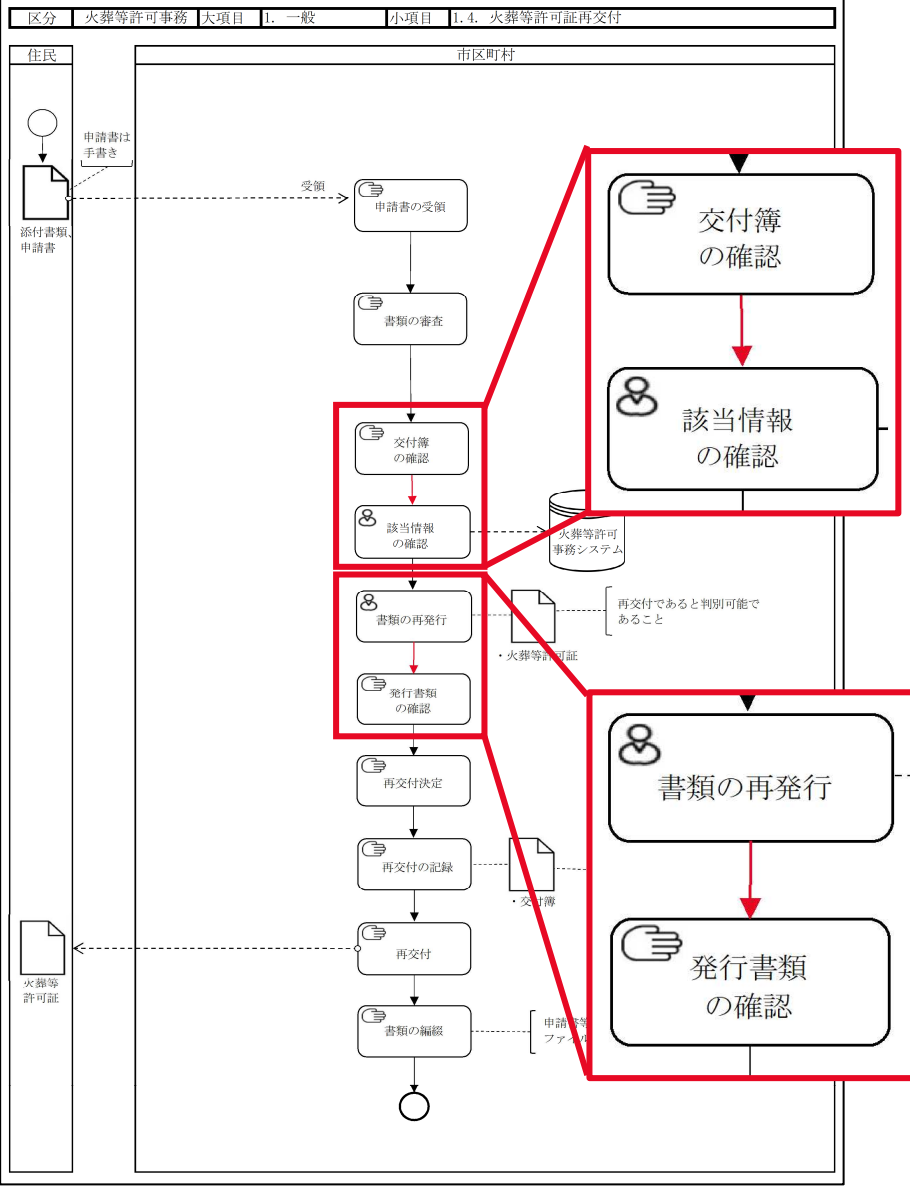
Appendix) (別紙1) 業務フローの改定イメージ

- 「1.4.火葬等許可証再交付」を以下のとおり変更する。

■ 変更前



■ 変更後



火葬等許可証出力機能に関する用紙サイズ等の追記

現状	標準仕様書に、印刷する際の調査票の用紙サイズ及び用紙の向きの記載がない。
方針	(別紙3) 帳票詳細要件の各帳票の備考欄に、印刷する際の用紙サイズ及び用紙の向きを記載する。
仕様書案	(別紙3) 帳票詳細要件 「1.1.死体火葬許可証」 「1.2.死胎火葬許可証」 「1.3.死体火葬許可申請書」 「1.4.死胎火葬許可申請書」 「2.1.死体埋葬許可証」 「2.2.死胎埋葬許可証」 「2.3.死体埋葬許可申請書」 「2.4.死胎埋葬許可申請書」 「3.1.改葬許可証」 上記の帳票詳細要件の備考欄に「印刷する際はA4サイズ of 用紙を縦向きに利用すること。」を追記する。 (別紙3) 帳票詳細要件 「3.2.改葬許可証別紙」 上記の帳票詳細要件の備考欄に「印刷する際はA4サイズ of 用紙を横向きに利用すること。」を追記する。

Appendix) (別紙3) 帳票詳細要件の改定イメージ (変更例)

- 以下のとおり、標準仕様書（別紙3）帳票詳細要件の備考欄に印刷する際の用紙サイズ及び向きを記載する。
※変更例に示した「1.1.死体火葬許可証」に加えて、「1.2.死胎火葬許可証」、「1.3.死体火葬許可申請書」、「1.4.死胎火葬許可申請書」、「2.1.死体埋葬許可証」、「2.2.死胎埋葬許可証」、「2.3.死体埋葬許可申請書」、「2.4.死胎埋葬許可申請書」及び「3.1.改葬許可証」の帳票詳細要件にも同様の対応を行う。

■ 変更前

帳票詳細要件 (1. 火葬許可証)					
業務		1. 火葬許可証	帳票ID	0390001	適合基準日 令和8年4月1日
帳票名称		1. 1. 死体火葬許可証			
備考					
連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			"死体火葬許可証"
2	発行番号	●			"第"+全角スペース+全角数字+全角スペース+"号"
3	再交付印		●		再交付の場合のみ□囲いで"再交付"と印字する。
4	死亡者の本籍	●			外国籍の場合は国名を印字する。
5	死亡者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
6	死亡者の氏名	●			
7	死亡者の性別	●			
8	死亡者の出生年月日	●			和暦表記（年月日） 外国籍の場合は西暦表記（年月日） 推定の場合は"推定"と印字する。
9	死因	●			
10	死亡年月日時	●			年月日は「和暦表記（年月日）」とする。 時刻は「午前/午後表記（午前/午後時分）」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。

■ 変更後

帳票詳細要件 (1. 火葬許可証)					
業務		1. 火葬許可証	帳票ID	0390001	適合基準日 令和8年4月1日
帳票名称		1. 1. 死体火葬許可証			
備考		印刷する際はA4サイズ of 用紙を縦向きに利用すること。			
連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			"死体火葬許可証"
2	発行番号	●			"第"+全角スペース+全角数字+全角スペース+"号"
3	再交付印		●		再交付の場合のみ□囲いで"再交付"と印字する。
4	死亡者の本籍	●			外国籍の場合は国名又は地域名を印字する。
5	死亡者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
6	死亡者の氏名	●			
7	死亡者の性別	●			
8	死亡者の出生年月日	●			和暦表記（年月日） 外国籍の場合は西暦表記（年月日） 推定の場合は"推定"と印字する。
9	死因	●			
10	死亡年月日時	●			年月日は「和暦表記（年月日）」とする。 時刻は「午前/午後表記（午前/午後時分）」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。

Appendix) (別紙3) 帳票詳細要件の改定イメージ (変更例)

- 以下のとおり、標準仕様書（別紙3）帳票詳細要件の備考欄に印刷する際の用紙サイズ及び向きを記載する。

■ 変更前

帳票詳細要件 (3. 改葬許可証)					
業務		3. 改葬許可証	帳票ID	0390010	適合基準日 令和8年4月1日
帳票名称		3. 2. 改葬許可証別紙			
備考					
連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			"改葬許可証別紙"
2	発行番号	●			"第"+全角スペース+全角数字+全角スペース+"号"
3	死亡者の本籍 (死産の場合は、父母の本籍)	●			死亡の場合 外国籍の場合は国名を印字する。 死産の場合 父母の本籍が別の場合二行で印字する。 "父"+全角スペース+父の本籍+改行+ "母"+全角スペース+母の本籍 同一の場合又は、嫡出でない場合は一行で印字する。 「母の本籍」 外国籍の場合は国名を印字する。

■ 変更後

帳票詳細要件 (3. 改葬許可証)

業務	3. 改葬許可証	帳票ID	0390009	適合基準日	令和8年4月1日
帳票名称	3. 1. 改葬許可証				
備考	印刷する際はA4サイズの用紙を縦向きに利用すること。				

連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			“改葬許可証”
2	発行番号	●			“第”＋全角スペース＋全角数字＋全角スペース＋“号”
3	再交付印		●		再交付の場合は□囲いで“再交付”と印字する。
4	死亡者の本籍 (死産の場合は、父母の本籍)	●			死亡の場合 外国籍の場合は国名又は地域名を印字する。 死産の場合 父母の本籍が別の場合二行で印字する。 “父”＋全角スペース＋父の本籍＋改行＋ “母”＋全角スペース＋母の本籍 同一の場合又は、嫡出でない場合は一行で印字する。 「母の本籍」 外国籍の場合は国名を印字する。

火葬等許可証の氏名欄等の印字編集条件の見直し

現状

- （別紙3）帳票詳細要件の死亡者、父母及び申請者の氏名欄や死亡及び分べん年月日時欄、埋葬、火葬及び改葬の場所欄の印字編集条件では、氏と名の間及び日付と時刻の間に全角スペースを入れる旨の記載や施設名称の後に改行を入れる旨の記載はない。
- 一方で、（別紙4）帳票レイアウトで示している記載例では、全角スペース及び改行が入っており、標準仕様書内（別紙間）で不整合が生じている。

方針

- （別紙3）帳票詳細要件の氏名欄、年月日時欄及び場所欄の「印字編集条件など」に、全角スペース及び改行を入れる旨を記載する。

仕様書案

（別紙3）帳票詳細要件

- 「1.1.死体火葬許可証」 死亡者の氏名、申請者の氏名
- 「1.2.死胎火葬許可証」 申請者の氏名
- 「1.3.死体火葬許可申請書」 死亡者の氏名、申請者の氏名
- 「1.4.死胎火葬許可申請書」 申請者の氏名
- 「2.1.死体埋葬許可証」 死亡者の氏名、申請者の氏名
- 「2.2.死胎埋葬許可証」 申請者の氏名
- 「2.3.死体埋葬許可申請書」 死亡者の氏名、申請者の氏名
- 「2.4.死胎埋葬許可申請書」 申請者の氏名
- 「3.1.改葬許可証」 申請者の氏名

上記の帳票詳細要件の印字編集条件に「氏+全角スペース+名」を追記する。

（別紙3）帳票詳細要件

- 「1.2.死胎火葬許可証」 父母の氏名
- 「1.4.死胎火葬許可申請書」 父母の氏名
- 「2.2.死胎埋葬許可証」 父母の氏名
- 「2.4.死胎埋葬許可申請書」 父母の氏名

上記の帳票詳細要件の印字編集条件を「父氏名」→「父の氏+全角スペース+父の名」、「母氏名」→「母の氏+全角スペース+母の名」に変更する。

火葬等許可証の氏名欄等の印字編集条件の見直し

(別紙3) 帳票詳細要件

- ・ 「1.1.死体火葬許可証」 死亡年月日時
- ・ 「1.2.死胎火葬許可証」 分べん年月日時
- ・ 「1.3.死体火葬許可申請書」 死亡年月日時
- ・ 「1.4.死胎火葬許可申請書」 分べん年月日時
- ・ 「2.1.死体埋葬許可証」 死亡年月日時
- ・ 「2.2.死胎埋葬許可証」 分べん年月日時
- ・ 「2.3.死体埋葬許可申請書」 死亡年月日時
- ・ 「2.4.死胎埋葬許可申請書」 分べん年月日時

上記の帳票詳細要件の印字編集条件に「年月日＋全角スペース＋時刻」を追記する。

(別紙3) 帳票詳細要件

- ・ 「3.1.改葬許可証」 死亡者の氏名（死産の場合は、父母の氏名）、埋葬又は火葬の場所、改葬の場所
- ・ 「3.2.改葬許可証別紙」 死亡者の氏名（死産の場合は、父母の氏名）

上記の帳票詳細要件の下記項目の印字編集条件を追記、変更する。

- ・ 死亡者の氏名（死産の場合は、父母の氏名）：「死亡の場合 氏＋全角スペース＋名」を追記する。「父氏名」→「父の氏＋全角スペース＋父の名」、「母氏名」→「母の氏＋全角スペース＋母の名」に変更する。
- ・ 埋葬又は火葬の場所：「埋葬又は火葬の場所の名＋改行＋埋葬又は火葬の場所の住所」を追記する。
- ・ 改葬の場所：「改葬の場所の名＋改行＋改葬の場所の住所」を追記する。

Appendix) (別紙3) 帳票詳細要件の改定イメージ (変更例)

- 標準仕様書 (別紙3) 帳票詳細要件の「印字編集条件など」に、全角スペースを入れる旨を追記する。

■ 変更前

帳票詳細要件 (1. 火葬許可証)					
業務		1. 火葬許可証	帳票ID	0390001	適合基準日 令和8年4月1日
帳票名称		1. 1. 死体火葬許可証			
備考					
連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			"死体火葬許可証"
2	発行番号	●			"第"+全角スペース+全角数字+全角スペース+"号"
3	再交付印		●		再交付の場合のみ□囲いで"再交付"と印字する。
4	死亡者の本籍	●			外国籍の場合は国名を印字する。
5	死亡者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
6	死亡者の氏名	●			
7	死亡者の性別	●			
8	死亡者の出生年月日	●			和暦表記 (年月日) 外国籍の場合は西暦表記 (年月日) 推定の場合は"推定"と印字する。
9	死因	●			
10	死亡年月日時	●			年月日は「和暦表記 (年月日)」とする。 時刻は「午前/午後表記 (午前/午後時分)」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。
11	死亡の場所	●			
12	火葬の場所	●			
13	申請者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
14	申請者の氏名	●			

■ 変更後

帳票詳細要件 (1. 火葬許可証)					
業務		1. 火葬許可証	帳票ID	0390001	適合基準日 令和8年4月1日
帳票名称		1. 1. 死体火葬許可証			
備考		印刷する際はA4サイズ of 用紙を縦向きに利用すること。			
連番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル	●			"死体火葬許可証"
2	発行番号	●			"第"+全角スペース+全角数字+全角スペース+"号"
3	再交付印		●		再交付の場合のみ□囲いで"再交付"と印字する。
4	死亡者の本籍	●			外国籍の場合は国名又は地域名を印字する。
5	死亡者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
6	死亡者の氏名	●			氏+全角スペース+名
7	死亡者の性別	●			
8	死亡者の出生年月日	●			和暦表記 (年月日) 外国籍の場合は西暦表記 (年月日) 推定の場合は"推定"と印字する。
9	死因	●			
10	死亡年月日時	●			年月日+全角スペース+時刻 年月日は「和暦表記 (年月日)」とする。 時刻は「午前/午後表記 (午前/午後時分)」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。
11	死亡の場所	●			
12	火葬の場所	●			
13	申請者の住所	●			方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース
14	申請者の氏名	●			氏+全角スペース+名

Appendix) (別紙3) 帳票詳細要件の改定イメージ (変更例)

- 標準仕様書 (別紙3) 帳票詳細要件の「印字編集条件など」に、全角スペース及び改行を入れる旨を追記する。

■ 変更前

帳票詳細要件 (3. 改葬許可証)					
業務		3. 改葬許可証	帳票ID	0390009	適合基準日 令和8年4月1日
帳票名称		3. 1. 改葬許可証			
備考					
連番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など	
6	死亡者の氏名 (死産の場合は、父母の氏名)	●		死産の場合 嫡出の場合は二行で印字する。 "父" 全角スペース 父氏名 改行 "母" 全角スペース 母氏名 嫡出でない場合は一行で印字する。 「母氏名」	
7	死亡者の性別 (死産の場合は、死児の性別)	●			
8	死亡年月日 (死産の場合は、分べん年月日)	●		年月日は「和暦表記 (年月日)」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。	
9	埋葬又は火葬の場所	●			
10	埋葬又は火葬の年月日	●		年月日は「和暦表記 (年月日)」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。	
11	改葬の理由	●			
12	改葬の場所	●			
13	申請者の住所	●		方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース	
14	申請者の氏名	●			

■ 変更後

帳票詳細要件 (3. 改葬許可証)					
業務		3. 改葬許可証	帳票ID	0390009	適合基準日 令和8年4月1日
帳票名称		3. 1. 改葬許可証			
備考		印刷する際はA4サイズ用の紙を縦向きに利用すること。			
連番	システム印字項目	実装項目		印字編集条件など	
6	死亡者の氏名 (死産の場合は、父母の氏名)	●		死亡の場合 氏 + 全角スペース + 名 死産の場合 嫡出の場合は二行で印字する。 "父" + 全角スペース + 父の氏 + 全角スペース + 父の名 + 改行 + "母" + 全角スペース + 母の氏 + 全角スペース + 母の名 嫡出でない場合は一行で印字する。 「母の氏 + 全角スペース + 母の名」	
7	死亡者の性別 (死産の場合は、死児の性別)	●			
8	死亡年月日 (死産の場合は、分べん年月日)	●		年月日は「和暦表記 (年月日)」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。	
9	埋葬又は火葬の場所	●		埋葬又は火葬の場所の名 + 改行 + 埋葬又は火葬の場所の住所	
10	埋葬又は火葬の年月日	●		年月日は「和暦表記 (年月日)」とする。 推定の場合は"推定"と印字する。	
11	改葬の理由	●			
12	改葬の場所	●		改葬の場所の名 + 改行 + 改葬の場所の住所	
13	申請者の住所	●		方書まで記載の場合は方書の前に全角スペース	
14	申請者の氏名	●		氏 + 全角スペース + 名	